

東アジアサミット（EAS）の結果概要

平成21年10月
大臣官房国際部

1. 日 時：10月25日（日）

2. 場 所：タイ国（ホアヒン）

3. 主な概要（当省関係）

① 東アジア包括的経済連携（CEPEA）

- ・ 鳩山総理より、CEPEAに関し、政府間の検討に移されていくことを支持する旨発言。

② 東アジア共同体

○ 鳩山総理より、以下の発言：

- ・ 東アジアサミットは東アジア共同体を作っていく上で、一つのフォーラムとなる。ASEAN諸国は東アジア共同体構成において、重要な役割を担っている。
- ・ ASEANは40年経って一つの協力するフォーラムになってきたことが参考となる。できるところから進めていけば良い。

○ 豪州ラッド首相より、アジア・太平洋共同体について提唱。年末までに1.5チャンネル（政府と民間）で議論を深めていきたい旨発言。

○ 引き続き議論を続けていくことで首脳間の見解が一致。

《議長声明（当省関連部分）》

- 開放性、透明性、包含性、機能的協力という原則に基づく「東アジア共同体」構築に向けた議論を活性化させる日本の新構想と、ASEANを中核とするオーストラリアの「アジア太平洋共同体」構想を歓迎。
- 東アジア包括経済連携の具体化のための政府間研究開始を歓迎。東アジア自由貿易地域とも並行して検討。

（以上）

